



学校だより

令和7年9月1日 9月号 岩国市立岩国小学校



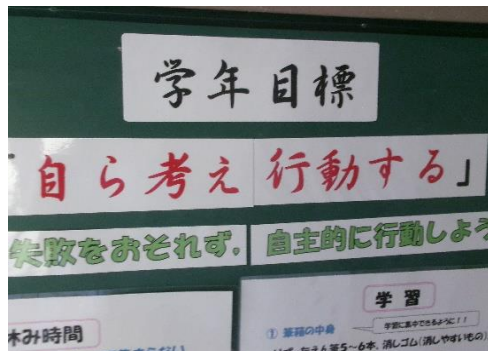
自ら考え行動し、充実した2学期に！

長い夏休みでの様々な経験や家族等とのふれ合いを通し、子どもたちは大きく成長したように見えます。

さて、右の写真は、6年生の学年目標です。以前、自分で考えて行動することが難しい大人が増えており、その要因として、子ども時代に、否定されることが多かった、あまり認められなかった、自分で選択する機会が少なかったなどがあ

るのではないかという話を聞いたことがあります。
自ら考えて行動するのは、とても難しいことではありますが、自分の行動への責任が伴い、主体性や責任感など、これからの時代に必要な資質能力を育成する上で、とても大切です。

様々な教育活動が予定されている2学期、「ま：任せる、ほ：褒める、う：受け止める」を基本とし、先生や保護者から言われるからするのではなく、「自ら考え行動する」場面を多く設け、一人ひとりの児童の健やかな成長につながるよう支援してまいりますので、引き続きの御理解と御協力をお願いします。



全国学力・学習状況調査の結果から

全国の小学6年生と中学3年生を対象として4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月中旬に文部科学省から届きました。この調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施されるものであり、国語、算数、理科（理科は3年に1回）の教科に関する調査と、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が行われました。本校では、この調査結果から、成果と課題を明らかにし、課題改善に向け、全校で教育活動の更なる充実を図っていきます。

教科に関する調査結果

国語、算数は全国平均正答率を上回り、理科は全国平均正答率と同程度という結果でした。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

86の質問が児童に対して行われ、その結果から、以下のような特徴が見られました。全国と比べて肯定的な回答の割合が高い項目を○、肯定的な回答の割合が低い項目を▲で示します。

- 学校に行くのは楽しい、友達関係に満足している、先生がよいところを認めてくれるなど、自己有用感に関する項目
- 人が困っているときには進んで助けている、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、人の役に立つ人間になりたいなど、社会性に関する項目
- ▲ 家庭での学習時間や学校での学び方に関する項目
- ▲ 教科の学習への興味に関する項目



全校で取り組んでいきます。

- 「学習10か条」や「家庭学習の手引き」により学習への構えを大切にします。
- 体験学習やICT機器の積極的な活用により、学習への興味関心を高めていきます。
- 他者と関わりながら学ぶ「協働的な学び」の中で、思考・判断・表現力を高めていきます。

8月24日のPTA環境整備作業には、6年生の児童と保護者、中学生など、多くの方に御参加いただき、ありがとうございました。蒸し暑い中の作業ではありましたが、おかげさまで、整った環境の中で2学期をスタートすることができました。



令和7年度チャレンジ目標 ○にこにこ挨拶 ○ふわふわ言葉 ○めりはり行動